

インド「よいとまけ」物語 11

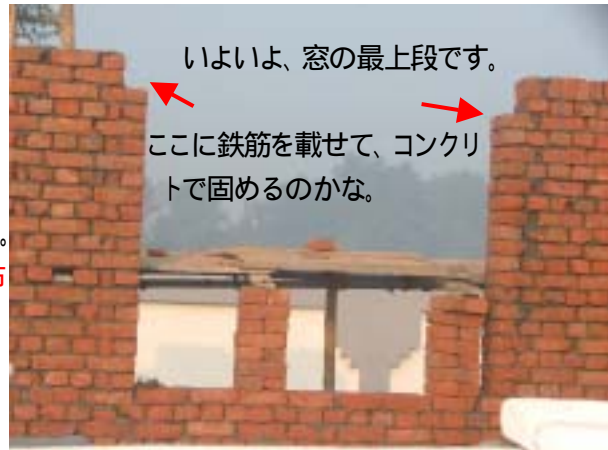
12月13日です。

昨夜、アンジェラのベビー1匹が死にました。インドの人間世界は2週間位経つと、近所の人を食事に招くようです。ヤドの父親が亡くなったときも、Dr.と院内に宿泊する職員2人と一緒に行きました。アンジェラも招待してくれるかな。ゴパールがベビーにミルクを飲ませています。

盛り土もどんどん、盛り上げています。

そう言えば、穴掘り同様、何人かが院内に宿泊しています。机の上にダンボールの敷き蒲団では寒いでしょう。掛け布しかないように思います。シャワー(職員用)を使うとしたら、水しかありません。

我慢強いのか、あきらめなのか、社会環境なのか…。どちらにせよ時々、歌を歌い働くのは、「よいとまけ」です。



10時頃にみんな大騒ぎをしているので、何事かと思ったら、ベビーを産んだ犬の母親が引きつっている様子です。どうも、寒さの影響もあったようで、人間専門のDr.の診断でさすったり、火をおこして暖めたり、藁を敷いたりしたら、回復しました。昨日、1匹が亡くなり、精神的ショックもあったのかな。Dr.は人間、動物もと獅子奮迅です。

12月14日。



東側壁もほぼ完了です。

今日は妊婦の説明会です。15人来ていました。クシナガルの人達と言っていました。Handbookは次回の来院時に渡すそうです。

